



今月もバドミントン大会や自由参観日、作文発表会におきまして、多くの方々にご来校いただきました。行事も、以前の姿に戻り、これからも子どもたちの表現・発表の場を設定していきます。子どもたちの成長・活躍を今後も島民の皆様に見守っていただきたいと思います。

教頭

たのしみは

校長

6年生の国語の学習に「たのしみは」という教材があります。この学習は、江戸時代の歌人 橘 曙覧（たちばな あけみ）の、日常の暮らしの中に楽しみや喜びを見い出して、「たのしみは」で始まり、「時」で結んだ短歌を学習して、その形を借りて橘 曙覧のように、自分で「たのしみ」を短歌で表してみようという学習です。本校の6年生二人が作った短歌は、

「たのしみは 犬をけんさく パソコンで 見てかわいいな いやされる時」

「たのしみは 母がくるまえに 自分だけ こっそりかくれ 物を食う時」

でした。なるほど！と思い、子どもたちの作った短歌を見させてもらうことでした。話は変わりますが、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことで、コロナ禍以前のように5、6月は、多くの釣り人がここ諏訪之瀬島を訪れています。ここを訪れる釣り人のたのしみは、夜にトビウオを狙って潜に入ってくるGT



（ロウニンアジ）を釣ることだと聞いて、その様子を見に行ってみると、「すごい！」の一言でした。初めて目の前でGTが釣り上げられる様子を見ましたが、釣り上げるまでの釣り人とGTとの駆け引きはスリリングでした。そして、釣り上げらえたGTの大きさにびっくり。こんな大きな魚が何十匹も切石港に入ってくるのかと思うと、身震いがすると同時に、諏訪之瀬島は、釣り人にとってあこがれの地の一つである意味がよく分かりました。

さて、最近、釣り人には、もう一つ別の「たのしみ」があるのではないかと思っています。それは、諏訪之瀬島の島民の方々との交流です。GTが掛かった時もあの大きな重たい魚を釣り人一人では引き上げることはできません。港に来てくださっている島民の方々が、大きな網を入れて引き上げてくださいます。ライトを照らして下さったり、写真を撮って下さったりと、いろいろとサポートもして下さいます。釣り上げた時は、一緒に喜んでくれます。GT釣りは、島民の方々のサポートがあってこそできるものであり、釣り人と島民の方々が一体となって行われているものであることが分かりました。まさに、GT釣りを通しての熱く温かい交流が行われていました。また、釣りをしながらの会話も共通の話題等があって楽しいものです。

やはり「たのしみ」を大きくする最大の要因の一つは、「人との交流」なのではないかと改めて思う6月でした。

すわのせっ子 6月コレクション



バドミントン大会



集合學習・職場體驗學習

掲載おめでとう！

南日本新聞 令和5年6月13日(火)

大物釣り上げ
ふるえ止まらず

諏訪之瀬島中2年

僕は3月に山海留學生として、岐阜県から諏訪之瀬島にやつてきた。母と弟の4人、妹の計5人一緒だ。

母が2月に「いろいろな体験をするために、十島村へ行こう」と言ったのだ。そうして島に着くと、「自然がいっぱいで、おもしろそうだ」と思った。

すぐに港へ釣りに行つた。最初はなかなか釣れなかつたけど、だんだんと釣れるようになった。

ヨコスジタイを10匹釣つたこともあった。

5月に入り、漁船に乗せていただいて釣りに行つた。その時、ルアーでかけたキハダマグロを、釣り上げる体験をさせてもらった。引きが強くてリールを巻くのが大変だったが、絶対に釣つてやると思つた。心臓がドキドキした。

そんな大物を釣つたことはなかつたので、釣り上げた時には心臓がバクバクした。キハダマグロは体長80センチくらいだった。

先日は元浦港で体長100センチのオニカマスを釣つた。初めて自分で大物を釣つたので、手のふるえが止まらなかつた。

僕はここ諏訪之瀬島で、自然にもっと親しみたい。自然との関わり方をたくさん学び、これからの生活をもっと豊かにしていきたい。

(十島村)

7月の行事予定

3日(月) 授業参観・1学期末PTA
5日(水) 高校説明会1日目
6日(木) 高校説明会2日目・島内発送
7日(金) 水泳教室2⑤⑥
10日(月) 水泳教室3⑤⑥
12日(水) 水泳教室4⑤⑥
13日(木) 体育大会看板作り
14日(金)・18日(火) 水泳教室予備日
19日(水) 中学生八月踊り
20日(木) 終業式
21日(金) 夏季休業～8/31
23日(日) 国体炬火リレー
24日(月)～25日(火) 県総体(バドミントン競技)
7/31～8/4 学校閉庁期間